

# 森林保険だより

## INDEX



イメージキャラクター  
マモルくん

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 理事ご挨拶／審議役ご挨拶                        | 2 |
| 森林組合連合会・森林組合からのたより                  | 3 |
| 森林保険改定のご案内                          | 4 |
| 第129回日本森林学会大会 in 高知大学               | 6 |
| 保険金をお支払いした災害の事例／<br>森林保険センター 人事異動情報 | 8 |



和歌山県串本町 (クマノザクラ)

クマノザクラ

# 「加入してよかった! 森林保険」



## 理事ご挨拶



国立研究開発法人  
森林研究・整備機構  
理事（企画・総務・森林  
保険担当） 柳田真一郎

皆様には、平素より森林保険の推進について格別のご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。4月に森林保険担当の理事に就任いたしました柳田でございます。

森林保険は、森林が火災、気象災、噴火災によって損害を受けた場合に、その損害を補償する保険で、林業経営の安定及び被災地の早期復旧に大きな役割を果たす制度です。

昭和12年の制度発足以来、国営の森林保険として運営してまいりましたが、平成27年4月に現在の森林研究・整備機構が制度を国から引き継ぎ、森林保険を専門に扱う機関として創設された森林保険センターで業務を開始しました。

火災による損害をてん補する保険として開始した森林保険は、これまで気象災や噴火災を保険の対象に加えるなど制度の充実を図り、昨年制度創設80周年を迎えることができました。

今後とも、迅速な保険契約や保険金の支払い、新たな商品の販売のほか、研究開発分野との連携による自然災害やリスク管理に関する情報提供など、保険契約者に対するサービス向上に一層努め、より利用しやすい保険を目指してまいります。また、森林保険の役割や重要性をわかりやすくお伝えして森林所有者の皆様へ森林保険に加入していただき、森林保険を永続的、安定的に運用することで、森林所有者の皆様から「加入してよかった」と言われるよう取り組んでまいります。

引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 審議役ご挨拶



森林保険センター  
審議役 石原 聡

平成30年4月1日付で森林保険センター審議役に着任いたしました。皆様には、平素より森林保険業務に対しまして、特段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

日本は豊かな森林の国であり、その背景には豊かな降水量と四季のある気候があります。豊かな降水量と変化する気候は、時に豪雨豪雪や暴風を伴い、森林に被害を与えます。

私の前任地、北海道では台風が上陸することはまれでしたが、平成28年の夏に、続けざまに襲来・上陸した台風により、豪雨による水害が広範囲で発生し、山地災害を引き起こすとともに、強風による森林の風倒被害を大面積に発生させました。このような、以前では十数年に1度発生するような大型台風の襲来や突発的な集中豪雨などが、毎年のように全国で報告される傾向にあります。

こうした気象災や、火災、噴火災による森林災害の発生に備えるのが森林保険です。森林所有者の皆様自らが災害に備えるセーフティネットとして、被災による経済的損失を補てんすることによって林業経営の安定に貢献するとともに、被災地の早期復旧にも大きな役割を果たしています。

こうした森林保険を安定的・永続的に運営できるよう取り組んでいくことが何よりも重要であり、毎年のように自然災害が発生する我が国において、豊かな森林を次世代へと引き継ぎ、将来にわたって森の恵みを受け続けられるようお手伝いさせていただきたいと考えています。

今後とも皆様のお役に立てる森林保険の提供とサービスの向上に努めて参りますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ◆ 森林組合連合会・森林組合からのたより ◆

### 大分県での森林保険加入推進の取組について

大分県森林組合連合会

#### 〔大分県の概要〕

大分県は九州の北東部に位置し、県内には古くから林業地として発展してきた日田地域、戦後の振興林業地である佐伯地域などがあり、民有林スギ素材生産量で全国3位、スギ人工林の蓄積で全国4位となっており、国内有数の林業地です。

#### 〔県森連の業務について〕

当県の保険加入の進め方といたしましては、日頃から森林組合担当者との連携を密にし、個人森林所有者、大規模森林所有者、並びに市町村への働きかけを行い、見積書の提示や、迅速な電話対応などに努めています。特に電話の対応については、相手の顔が見えない分、丁寧でわかりやすい説明をするよう心がけています。

県森連は、森林組合の担当者ほど森林所有者との関わりは少ないですが、森林所有者から直接電話を受けたり、事務所に来会されるお客様も多くいらっしゃいます。そのような場合には、森林保険の重要性の説明や保険継続更新の見積書の作成等、森林所有者へのアドバイスを的確に行うように努めています。

窓口で森林所有者の方とお話しをさせていただく際には、ご自分の山の思い出や、山に関する想いを伺って、担当者が涙ぐんでしまうことも多々あります。

昨年の九州北部豪雨において、当県の管内でも甚大な被害をもたらした影響から損害調査が中々進まない所も見受けられます。

現在、森林保険センターが進めているドローンによる損害調査が可能になれば、損害調査における労力が軽減されるとともに、森林所有者への保険金の早期支払いに繋がっていくと期待しています。



▲大分県森林組合連合会事務所



▲雪害の現地調査の様子

### いわき市森林組合のご紹介

いわき市森林組合は、福島県南部に位置するいわき市を管内とし、森林面積 88,944ha、組合員数 3,804 名、組合職員 20 名で、間伐等の森林整備に取り組んでいます。

管内は、気候的に本県で一番暖かい地域ですが、標高 1,000m 弱の山間部もあり、積雪が比較的多い地区もあります。特に 3 月の湿った降雪により度々雪害の被害が発生しています。

また、太平洋に面していることから県内で台風による被害が多く起きる地域でもあり、風倒被害や降雨による水害が大規模に発生しています。

最近は、間伐事業が多く、主伐後の新植による新規加入が減少している状況ではありますが、森林保険の推進活動について組合全体で取り組むとともに保険の担当者を設け取り組んでいます。

特に、契約者への丁寧な説明及び的確なアドバイス等を行うことで森林所有者の森林保険への理解が得られ、新規加入、継続加入も県内トップクラスの実績となっています。

また、いわき市も公有林の管理における保険加入の



▲いわき市森林組合事務所

重要性を認識されており、組合の契約面積の約半数は、市との契約になっています。

森林保険加入促進の取組が認められ、昨年行われた森林保険制度創設 80 周年記念シンポジウムにおいては、森林研究・整備機構理事長感謝状を受賞いたしました。

今年の 6 月 10 日には、本県の南相馬市にて、『第 69 回全国植樹祭』が開催されるとともに、前日の 9 日には、いわき市で『第 47 回全国林業後継者大会』が開催されます。こういった機会も利用して、森林所有者の方々などに森林、林業の重要性の理解を更に深めて頂き、森林保険加入促進を図ってまいりたいと考えています。



▲ドローンによる雪害箇所の撮影写真

福島県森林組合連合会では、DJI 製のファントム 4 のドローンを購入し林相の調査、森林保険の損害調査等に役立てています。



# 森林保険改定のご案内

## 改定制度は 平成31年4月からスタートします！

この度、契約者・被保険者さまへのサービスの向上を図るとともに、近年の災害発生状況を踏まえた保険となるよう商品の改定を行います。

平成30年4月～平成31年3月  
現行の保険制度

平成31年4月～  
改定制度 スタート！

| 商品<br>時期 | 現行 | 改定   |
|----------|----|------|
| 平成30年度   | ↓  | 契約受付 |
| 平成31年度   |    | ↓    |

※平成30年4月～

改定制度スタート前に改定制度での**保険契約**を受け付けます。  
保険の効力が発生する日は**平成31年4月以降の任意の日**をご指定いただけます。

## 1 保険料率を見直します！

- 20年生以下と21年生以上で区分していた保険料率を林齢の違いによる災害リスクを踏まえ**5年生以下と6年生以上**で区分します。
- 近年の災害発生状況を都道府県毎に反映するため、保険料率を**5年毎**に見直します。

| クラス | 林 齢   | 保険料率<br>(保険金額1,000円につき1年当たり) |       |
|-----|-------|------------------------------|-------|
|     |       | 針 葉 樹                        | 広 葉 樹 |
| A   | 1～5年生 | 3.43円                        | 1.72円 |
|     | 6年生～  | 2.57円                        | 1.29円 |
| B   | 1～5年生 | 4.29円                        | 2.15円 |
|     | 6年生～  | 3.22円                        | 1.61円 |
| C   | 1～5年生 | 5.36円                        | 2.68円 |
|     | 6年生～  | 4.03円                        | 2.02円 |

**Aクラス** 埼玉県、富山県、石川県、岐阜県、愛知県、大阪府、兵庫県、香川県、愛媛県、佐賀県、長崎県、宮崎県、沖縄県

**Bクラス** 青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、福井県、長野県、静岡県、三重県、滋賀県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、高知県、福岡県、熊本県、大分県、鹿児島県

**Cクラス** 北海道、岩手県、栃木県、山梨県、京都府

## 2 新たな割引制度で保険料をお得に！

継続割引

継続契約のお申込みで  
1年目の保険料が…

3%  
OFF

※契約終了から一年未満の間に保険期間が始まる継続契約に適用します。

花粉症対策  
苗木割引

花粉症対策苗木の植栽で  
1年目の保険料が…

3%  
OFF

※花粉症対策苗木とは、無花粉、少花粉、低花粉のスギやヒノキ等のことです。  
※この割引は、植栽後、2年以内に初めて保険加入した場合に適用します。  
※花粉症対策苗木の植栽を証明できる関係書類を確認させていただきます。

# 3

## 長期割引率を見直します！

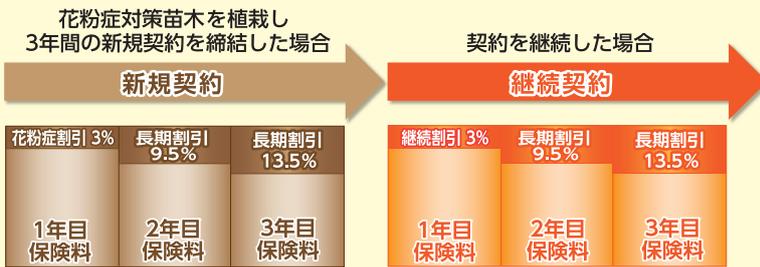
長期契約の場合に適用される割引率を見直します。

### 新割引率

| 保険年度     | 割引率   |
|----------|-------|
| 第2期      | 9.5%  |
| 第3期～第65期 | 13.5% |

※新割引率は計算に使われる運用利率を実態に合わせて見直したものとなります。

### 【平成31年度以降の割引適用例】

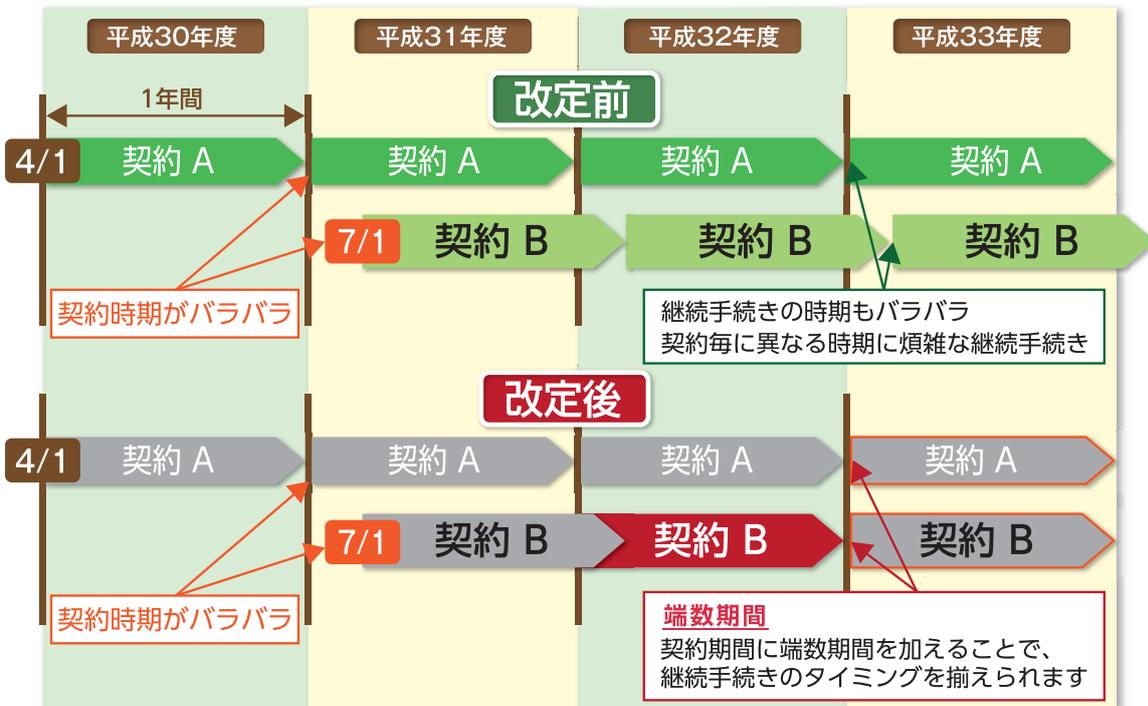


※4年目以降の保険料に適用される長期割引率は3年目と同じ13.5%となります。

# 4

## 複数の契約で継続手続きのタイミングをそろえられます！

### 複数の1年契約を毎年更新している場合



※この制度を利用できる契約者は、既に一つ以上の森林保険契約を締結している方に限ります。

※端数の付いた契約の保険期間は1年間以上である必要があります。

※端数期間の保険料は1年間の保険料を日割りで計算します。

※端数の付いた契約(B)は、満期日を合わせる契約(A)と、契約者が同じかつ被保険者が同じでなければなりません。(契約者と被保険者は異なって可)。ただし、被保険者が複数の場合は、この制度を利用できません。

# 第129回日本森林学会大会 in 高知大学

今年で129回目の開催となった日本森林学会大会が、2018年3月26日から29日にかけて高知市の高知大学他で開催されました。大会の企画シンポジウムの一つとして、「森林気象害のリスク管理－森林保険創設80周年を迎えて－」と題したシンポジウムが行われました。

森林保険に関係の深いこのシンポジウムの内容をご紹介します。

## 「森林気象害のリスク管理－森林保険創設80周年を迎えて－」

コーディネータ：高橋正義・鈴木 寛・後藤義明（森林総合研究所）

### 「転換期の森林保険」



興梠克久（筑波大学）

森林保険制度は、今後の制度発展のために今何が求められ、何が必要とされているのでしょうか。

まず、保険加入率が低い現在の状況を脱するためには強力な加入促進活動を展開する必要があります。次に森林認証、施業集約化や森林所有者の世代交代、森林信託や投資に向けたリスク分散への対応といった様々な森林経営上の課題に応じた制度の構築が必要であり、自然災害リスク評価や防災研究といった研究開発との連携強化を通じてよりよい保険商品開発するとともに、業務改善等の柔軟な制度運用が求められていると考えます。

は、複数の選択対象から1つを選択する事象をモデル化するための手法である多項ロジットモデルが有効です。医学分野と同様に、森林におけるリスク評価でも統計解析の専門家との共同研究が望ましいと考えます。

### 「気象害と森林管理の関係」

鳥田宏行（北海道立総合研究機構）

森林の気象被害を軽減するには、適正な保育管理を実施して、強風や雪などに対して強い林分を育てておく必要があります。そこで、過去の気象害調査と気象被害を軽減する保育管理について分析しました。



北海道中札内村におけるカラマツ林での台風による風害の解析から、台風被害を受けなかった林分は、被害林分に比べて立木密度が低く、間伐回数が多いことがわかりました。また、日高町のカラマツ林における雨氷害での解析結果から、本数被害率70%以上の激害林分は、本数被害率30%以下の林分よりも本数密度が高いことが明らかになりました。

風害も雨氷害も適切な間伐を実施すれば被害の軽減につながる可能性があると考えられます。

### 「統計学からみた森林におけるリスク管理」



加茂憲一（札幌医科大学）

森林リスクを定量化する統計手法について、その背景にある数理統計理論の視点を踏まえて紹介します。

樹木の倒れやすさを実測するスギ引っ張り実験データは、医療分野等で用いられている生存時間分析のための手法であるCox比例ハザードモデルで解析できます。冠雪害の被害データを用いたリスク要因の特定に

## 「統計資料に基づく 36 年間の日本の民有人工林における干害の発生状況」



吉藤奈津子（森林総合研究所）

日本の民有人工林における干害の発生状況について、その推移を統計資料や気象データの分析からご紹介します。

干害は年によって発生面積が大きく異なり、被害のほとんど

は1 齢級（1～5 年生）の林分で発生していました。地域や樹種で被害状況は異なりますが、皆伐新植した林分は干害リスクを考慮すべきです。

比較的高齢級の林分で特異的に干害が起きた年の気象データを分析したところ、樹木の成長期であり例年降雨がある7 月から9 月の間、ほとんど雨が降らなかったことがわかりました。

## 「林床可燃物含水状態の推定モデルによる林野火災発生危険度の広域評価」



玉井幸治（森林総合研究所）

林野火災の被害発生危険度を広域評価する研究をご紹介します。日射量と降水量から計算される林床可燃物の含水比が0.20g/gを下回る乾燥した日を「林野火災発生危険日」と定義し、

日射量と降水量のモニタリングデータから林床可燃物の含水比の変動を予測するモデルを作りました。林野火災が原因でとん補した森林の情報をを用いてモデルを検証したところ、林野火災の発生日のほとんど発生危険日に含まれていました。さらにこのモデルを使って全国各地の林野火災発生危険日の出現頻度を算出したところ、出現頻度が地域によって異なること、すなわち林野火災の起こりやすさが地域で異なることがわかりました。

## 「気象データから冠雪害の発生リスクを評価する」

勝島隆史（森林総合研究所）

雪が樹冠に積もることによって発生する冠雪害について、その発生リスクを評価する研究を紹介します。豪雪地で知られる新潟県十日町市



で、スギの樹冠に積もる雪の重量を観測分析し、気象データを使って冠雪重量を予測するモデルを作成しました。

また、気象モデルを使って1979 年から現在までの詳細な気象を再現し、冠雪重量予測モデルで長期間、広域での冠雪重量の変動を推定しました。今後、冠雪害が起きる気象条件や場所の分析に生かしていきます。

## 「森林気象害と森林情報」

高橋正義（森林総合研究所）

森林災害が生じた際に被害林分とその状態をどのように把握すればよいのでしょうか。

衛星画像や空中写真、UAV 写真や地上での調査などさまざまな情報ソースを活用した方法について、それぞれの方法を具体的な事例とともに紹介し、特徴を整理しました。これらの様々な方法を活用し、森林保険の被害評価に必要な損害調査を効率的に進めるべきです。また、得られた災害情報を林業経営や森林管理に生かすことも必要だと考えています。



## 「森林保険と今後の方向性」

大貫肇（森林保険センター）

森林保険は、森林所有者自らが災害に備える唯一のセーフティネットです。

平成27 年度に独立行政法人となり、お客様サービスを向上させるべく、ドローンなどを活用した損害調査の導入にも取り組んでいます。

森林保険センターと森林総合研究所が連携して気象害のリスク管理に関する研究を進めており、ここで得た知見は、災害リスクの精度向上により保険の商品価値を高めるのに役立つだけでなく、リスクを踏まえた経営、災害に強い施業の確立への応用により、林業の成長産業化にも貢献するものと考えています。また、新しい森林管理システムを進める上でも有益な知見を得られると考えています。今後、科学的知見に基づいた災害予測の向上により、リスクの見える化、保険料率の改定などに取り組むとともに、林業の成長産業化や新しい森林管理システムに対応して保険商品のブラッシュアップを図っていかなければならないと考えています。

↓↑↓↑↓↑↓↑↓↑↓↑↓↑ 保険金をお支払いした災害の事例 ↑↓↑↓↑↓↑↓↑↓↑

災害事例  
1

■干害

平成 29 年 8 月中旬から 9 月初旬にかけて雨量が極端に少なく、日照時間が長く、気温も高かった。被害地は乾燥しやすい地形条件にあったことにより被害が発生したものの。

【事 例】 和歌山県内社有林

樹種・損害時林齢：ヒノキ・1年生  
 実損面積／契約面積：8.09ha/11.23ha  
 支払保険金：8,170,900 円

(参考)ha当たりの保険料/年：2,727 円  
 ha当たりの保険金額：101 万円  
 付 保 率：100%



災害事例  
2

■火災

平成 29 年 5 月 3 日、野焼きの火が風にあおられて燃え広がり、被害が発生したものの。

【事 例】 秋田県内私有林

樹種・損害時林齢：スギ・8年生  
 実損面積／契約面積：1.53ha/4.28ha  
 支払保険金：3,411,900 円

(参考)ha当たりの保険料/年：3,712 円  
 ha当たりの保険金額：223 万円  
 付 保 率：100%



森林保険センター 人事異動情報

【転出者】平成 30 年 3 月 31 日付け

| 新 職 名                     | 氏 名    |
|---------------------------|--------|
| 損害保険ジャパン日本興亜株式会社（出向期間満了）  | 足立 尚人  |
| 森林整備センター森林管理部次長           | 益子 美智夫 |
| 林野庁森林整備部森林利用課森林吸収源情報管理官   | 大沼 清仁  |
| 林野庁国有林野部経営企画課企画官（事務・情報管理） | 青柳 浩   |
| 林野庁林政部林政課課長補佐（主計班担当）      | 大倉 正彦  |
| 林野庁森林整備部治山課林地利用指導官        | 伊藤 浩   |
| 関東森林管理局資源活用課生産係長          | 大家 広路  |
| 林野庁研究指導課保護企画係長            | 高野 理洋  |

【転入者】平成 30 年 4 月 1 日付け

| 新 職 名                      | 氏 名     |
|----------------------------|---------|
| 森林保険センター審議役                | 石原 聡    |
| 森林保険センター保険業務部長             | 福本 浩一   |
| 森林保険センターリスク管理室長            | 奥谷 敏明   |
| 森林保険センター保険総務部保険企画課長        | 山本 敏治   |
| 森林保険センター保険総務部保険経理課長        | 岩崎 利行   |
| 森林保険センター保険総務部参事            | 佐野 周二   |
| 森林保険センター保険業務部参事            | 高森 幸治 ※ |
| 森林保険センター保険業務部保険推進課課長補佐     | 高橋 友和   |
| 森林保険センター保険業務部保険業務課課長補佐     | 森 美映子   |
| 森林保険センター保険総務部保険経理課保険経理第二係長 | 橋本 瑞穂   |
| 森林保険センターリスク管理室監査係長         | 柏 智久    |
| 森林保険センター保険業務部保険業務課保険審査第一係  | 松林 玄悟 ※ |
| 森林保険センター保険業務部保険推進課加入促進係    | 糸川 結花 ※ |

(※は内部異動)



国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター

〒 212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町 66-2 興和川崎西口ビル 9F

電話:044-382-3500 (代表)

FAX:044-382-3514

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/fic/index.html>